

坂城町体育協会表彰

7月2日(火)に行われた「令和6年度坂城町体育協会理事会」で、3名の方に功績章と功労章が贈られました。

功績章 第19号を受章した塚田 博さんは、野球部の部長として、体育協会理事を23年間務め、協会の発展に尽力されました。

功労章 第6号を受章した渡邊 英雄さんは、30年間、坂城サッカースポーツ少年団で青少年の指導とサッカーの普及に尽力されました。

功労章 第7号を受章した小山 眞裕さんは、坂城町スポーツ少年団陸上部の発足当時から青少年の指導に尽力され、多くの成績優秀者を育成してきたことによる受章です。

なお、本理事会で協会の名称が「坂城町体育協会」から「坂城町スポーツ協会」に変更となりました。



▲(左から) 渡邊さん、塚田さん、小山さん
坂城町スポーツ協会 高井会長

金子亜瑠さん 陸上競技でインターハイ 出場！



▲(左から) 塚田教育長、山村町長、金子さん
坂城町スポーツ協会 高井会長

長野日本大学高校3年の金子亜瑠さんが6月に新潟県で開催された「令和6年度北信越高等学校体育大会 兼 第63回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会」の女子三段跳で自己ベストを更新する11.97メートル(全国26位)で見事優勝し、7月に開催された「令和6年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」へ出場しました。

インターハイ前の7月3日(水)に役場に来庁した際には、「今年のインターハイのキャッチフレーズが『ありがとうを強さに変えて』なので、日頃支えてくれるすべての人に感謝し、楽しみながら全力で本番に臨みたい」と太陽のような明るい笑顔で抱負を話していました。

町内小中学校の学校給食で「新紙幣発行献立」を提供

20年ぶりの新紙幣発行が7月3日(水)から始まりましたが、これにちなんで、新紙幣発行開始日である3日の学校給食は「新紙幣発行献立」が提供されました。

学校給食から新紙幣発行というニュースに関心を持ってもらう目的で考えられた献立は、1万円札の渋沢栄一の生まれた埼玉県
の郷土料理である「みそポテト」、5千円札の津田梅子の父である津田仙が西洋野菜を栽培し普及させた第一人者であることから、ブロッコリー、キャベツなどの西洋野菜を使った「津田仙サラダ」、



千円札の北里

柴三郎の出身である熊本県の郷土料理「つぼん汁」、麦ごはん
と新紙幣イメージがパッケージに印刷された海苔です。

南条小学校の5年生の教室では配膳が始まると、1万円、5千円、千円の新紙幣のイメージが印刷されている海苔を、誰にどの種類が当たるか分からないように裏返して配ったり、本人には見えないようにして選ばせていました。そして、自分のところに配られた海苔のパッケージを見て「やったあ！！1万円札だあ！！」「これが本物ならなあ！」などと言いながら友達と見せ合いっこしていました。そして、給食を美味しそうにあっという間に完食していました！



竹内紗雪さん なぎなたでインターハイ 出場！

上田西高校1年の竹内紗雪さんが、5月に開催された「令和6年度長野県高等学校総合体育大会なぎなた競技大会（兼）第63回全国高等学校なぎなた選手権大会長野県予選会」の個人試合の部で2位という成績を収め、「令和6年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会（インターハイ）第63回全国高等学校なぎなた選手権大会」に出場しました。

7月16日（火）には、インターハイ出場報告のため、役場に来庁し、「全国大会に出場するにあたっては、大勢の皆さんに支えてもらって出場できることに感謝している。試合では、自分から打っていくことを意識して1試合、1試合頑張りたい」とほんわかとした可愛らしい笑顔で決意を語っていました。



▲（左から）山村町長、竹内さん、坂城町スポーツ協会 高井会長、塚田教育長

隣保館ふれあい交流フェスティバルを開催！



▲第2部 打楽器三重奏コンサート
（左から）山口さん、平野さん、京谷さん

地域交流や文化活動の推進を図ることを目的として、7月6日（土）、「隣保館ふれあい交流フェスティバル」を開催しました。

第1部は、絵手紙、つるし飾りなどの作品展と、オカリナ、手話ソング、フォークダンス、パドル体操、社交ダンス、文化筆の活動発表が隣保館で行われ、出演した皆さんは日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

第2部は、山口真由子さん（ヴィブラフォンが中心）、平野有希子さん（マリンバが中心）、京谷ひとみさん（ドラムなどのパーカッションが中心）の3名による打楽器三重奏のコンサートが坂城テクノセンターで行われ、曲目により楽器を交代しながら、リズムカルな音楽から美しい旋律まで“打楽器”だけの心弾む音楽が奏でられ、来場した皆さんは心地よいひと時を楽しんでいました。



町体育館が「日本の近代建築 290 選」に選ばれる！

町体育館が DOCOMOMO Japan の 2023 年度選定建築物の 1 件となり、「日本のモダン・ムーブメントの建築 290 選」に選ばれました。

DOCOMOMO Japan は 20 世紀の建築における重要な潮流であったモダン・ムーブメントの歴史的・文化的重要性を認識し、その成果を記録するとともに、それにかかわる現存建物・環境の保存を訴えるために、オランダで設立された国際組織の日本支部で、毎年国内の近代建築の選定が行われ、2023 年度で累計 290 件となっています。体育館にお越しの際には外観もじっくりご覧になってみてください。



町内小中学生 陸上競技で大活躍！！

町内の小学生と中学生が陸上競技で大活躍し、それぞれ上位の大会に出場しました。

村上小学校6年 中村璃久さんは、6月に開催された「日清食品カップ長野県小学生陸上競技交流会兼第41回長野県小学生陸上競技大会兼第10回東海小学生陸上競技大会予選会」の6年生男子100メートルで6位となり、8月に岐阜県で開催された「第10回東海陸上競技大会」へ出場しました。

坂城中学校3年 滝澤来樹さんは、「第70回全日本中学校通信陸上競技長野県大会兼第79回特別国民スポーツ大

会陸上競技長野県予選 第51回全日本中学校陸上競技選手権大会参加資格取得競技会」走幅跳で6メートル77の記録を出し、福井で開催された「第51回全日本中学校陸上競技選手権大会」へ出場しました。また、6月に開催された「第63回長野県中学校総合体育大会(夏季大会)」の男子2、3年共通 走幅跳では1位となり8月に新潟県で開催された「第45回北信越中学校総合競技大会」へも出場しました。

坂城中学校3年 山下結衣さんと早野優空さんは、6月に開催された「第63回長野県中学校総合体育大会(夏季大会)」の女子3年100メートルでそれぞれ、2位、3位という成績を収めたほか、坂城中学校1年 宮下慈生さん、塩野入愛花さん、吉和七海さん、北原琴羽さんとともに出場した女子4×100メートルリレーで2位となり、8月に新潟県で開催された「第45回北信越中学校総合競技大会」へ出場しました。

8名の皆さんが上位大会出場前の7月30日(火)に来庁した際には、あどけない表情でありながらも「支えてくれる皆さんに感謝しながら、大会では日頃の成果を発揮して楽しみたい」と口々に抱負を話していて、その姿はとても輝いていました。



第41回坂城町町民ゴルフ大会を開催！

7月21日(日)、坂城町ゴルフ協会主催、町・町教育委員会・坂城町スポーツ協会共催の「第41回坂城町町民ゴルフ大会」が浅間高原カントリー倶楽部で3年ぶりに開催され、約140名の皆さんが競い合いました。

「一般の部」と「シニア・レディース(60歳以上)の部」に分かれ、ハーフスコアの新しいペア方式で集計が行われ、皆さん、日頃の成果を発揮し、各々楽しんでいました。



【一般の部の結果】

- 1位 富田治さん
- 2位 本山直樹さん
- 3位 田中昌樹さん



【シニアの部の結果】

- 1位 関繁充さん
- 2位 青柳秀夫さん
- 3位 柳澤博美さん



169 系電車ボランティア清掃

7月14日(日)、坂城駅前多目的広場で、169系電車のボランティア清掃が行われました。

169系電車は、平成25年に町に静態保存されてから、毎年、大勢の皆さんにご協力をいただいてボランティア清掃を行っており、今年で12回目となります。169系電車保存会の皆さんと町内外からの一般参加の方が集まり、例年は車両外側のブラシ掃除と車内清掃を行っていますが、今年はいにくの雨だったため、車内の雑巾がけや窓拭きなどを行いました。そして、清掃終了後、参加してくださった全員に、記念のピンバッジがプレゼントされました。

多くの皆さんのご協力に感謝します。



「～坂城町文化センター リニューアルオープン記念～ サマー・コンサート」を開催



7月21日(日)、音の響きが向上した町文化センター大会議室で、「～坂城町文化センター リニューアルオープン記念～サマー・コンサート」を開催し、ヴァイオリン・チェロ・ハープ・ピアノによる華麗なるアンサンブルを来場した約160名の皆さんが堪能しました。

海野幹雄さん(チェロ)、瀬崎明日香さん(ヴァイオリン)、奥田恭子さん(ハープ)、海野春絵さん(ピアノ)のアンサンブルは、チャイコフスキーやメンデルスゾーン、ラヴェルなどの曲を、このコンサートのみでしか聞くことができない、三重奏や四重奏などで披

露し、曲によっては演奏者がステージから降りてきて、来場者の皆さんのすぐ隣で迫力のある演奏をしてくれるなど、会場の皆さんは普段ではなかなか経験できない、優雅で美しい音の響きに魅了されているようでした。また、演奏の間には、それぞれの楽器の説明やびっくりするような実話が紹介され、笑いも起きていました。

アンコールではアンサンブルによる「坂城町の歌」が披露され、いつも聞いている歌とはまるで違う「坂城町の歌」に皆さん聞き入っていました。

なお、このアンサンブルバージョンの「坂城町の歌」は町の防災行政無線の定時放送の音楽として流していますので、注目してみてください！

また、コンサート休憩中には、7月に、林榮子様からご寄附いただいた、

森仁志さんの油絵「有明の月」の紹介がされ、多くの人が鑑賞していました。文化センターにお出かけの際には、1階事務室の向かい側に展示されていますので、是非ご覧ください。



◀ 森 仁志「有明の月」を鑑賞する皆さん

